



神明われら 誇りは高し

平成 30 年 4 月 13 日

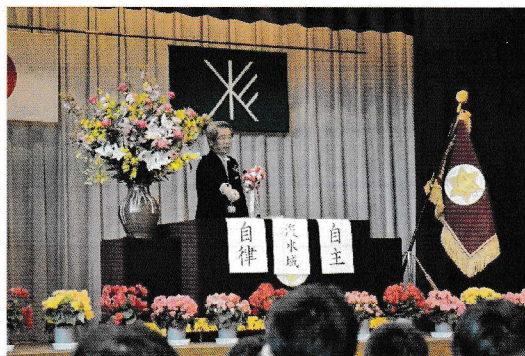
学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

天動説・地動説は、人間の生き方に通じる？

校長 杉山善之

4月9日、第72回入学式を挙行了しました。今年の新入生は、男子49名、女子51名、計3学級100名。学校希望制終了後初めて100名の生徒が入学しました。これにより、2年男子41名、女子33名、計2学級74名、3年男子47名、女子34名、計3学級81名。合計男子137名、女子118名、計8学級255名の学校になりました。それぞれの生徒が充実した神明中生活を送れるよう、教職員一同最大限の努力を傾けていきます。



今年の入学式では、昨年度の杉並の小学校での卒業式祝辞と本校卒業式の式辞の中で述べた「コペルくん」を受けて、「子供から大人への汽水域」の中にいる中学生に、「自分で考える」こと、そして、「自分の周りにはいる他者との関係を考え、行動できる」力を身に付けてもらいたい。そして、それが校訓「自主・自律」につながるという話をしました。

16世紀、世間の人たちが「天動説」を当たり前のことと思っている中で、コペルニクスのように、それに疑問をもち、自分で調べ、自分で考え、自分の意思で百八十度違う「地動説」を発表しました。また、ガリレオ・ガリレイのように、コペルニクスを学び、発明した望遠鏡を使って、地動説を実証しました。「自分で考える」、それを発表することは勇気がいります。他者から「やらされる」のではなく、「自分の意思」で、考え、調べ、発表し、検証する。校訓「自主」です。

また、人間は、自分一人では生きていけない。自分と他者との関係の中で、自分の責任で生きていかなければならない。「自分の周りの人との関係をとらえ、相手や他者のことを考え、自分をコントロールして行動する」。校訓「自律」です。

この校訓「自主・自律」を実現するためには、教育目標「創造・鍛錬・共生」が必要です。わかりやすく言えば、「勉強する」ことです。中学校の勉強はだんだん難しくなっていきます。成長にともなって勉強が難しくなるのは当たり前です。勉強は、今勉強していることを学ぶことです。今勉強していることは、今まで勉強してきたことがもとになっています。ガリレオもコペルニクスを学びました。「発明」といわれるものには、必ずそれまで研究してきたことの「もと」があるのです。

どんな学習問題（課題）でも、今まで学んできたことをもとに、「なぜ？」「どうして？」と疑問をもつこと。その疑問をお互いに率直に言い合ってみる。だんだん、学習問題（課題）＝何を勉強するかがみえてきます。勉強の見通しです。また、一番知りたいことがみえてきます。一番知りたいことを勉強することは楽しいことです。そうすることで、何ができるか、「必ず、これができる」とは断言できません。断言できたら、人間、なんでもできることになってしまいます。できることがみえないからこそ、勉強するのです。しかし、どんな小さなことでも、見通しをもって勉強を続けていく中で、「これができるようになる」ということがみえてきます。

ただ、「頭をわかる」だけでなく、「頭を使って行動できる」人間としての力です。

平成30年度異動

退職	経営	杉山 善之	校長		
	理科	横井 弘	主任教諭		
	社会	倉科 憲一	主幹教諭		定年退職
	調理	浅賀 秀治	技能主任	杉並区立第九小学校(再任用)	定年退職
	英語	芹田 裕美	教諭		
転出	副校長	神山 洋之	副校長	新宿区立新宿養護学校	
	美術	渋谷 里美	副校長	杉並区立泉南中学校	昇任
	調理	番場 義明	技能主任	杉並区立泉南中学校	
	調理	遠藤 美保	技能主任	杉並区立済美養護学校	

転入	経営	杉山 善之	再任用	校長	
	社会	倉科 憲一	再任用	主任教諭	
	経営	大柴 浩一	副校長	杉並区立宮前中学校より	昇任
	副校長 支援員	酒井 善雄	副校長校務支援員	杉並区立荻窪中学校より	
	英語	飯野 貴恵	教諭(産休代替)		
	理科	松澤 拓士	非常勤講師		
	美術	井川 知美	非常勤講師		
	英語	島村 邦子	補助教員		
	国語	尾張 英治	学習支援員		
	SC	石川 裕子	スクールカウンセラー		
	調理	豊作 充也	技能主任	杉並区立第九小学校より	
	調理	齊藤 雅司	再任用	杉並区立和田小学校より	

今年度、杉並区立宮前中学校より異動してきました。副校長の大柴浩一です。早くチーム神明中の一員として、頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。